**アンケート①**

-　情報管理について　-

頂いた情報は適切に管理し「きぼう」利用・　国際宇宙探査に関する業務のみに使用します。

**＜Q1　あなた様のことをお教えください＞**

**Q1-1. あなたの会社・組織の業種(及びその内容)は何ですか？**

□農業・林業・漁業・鉱業　　□建設業　□金融・保険業　□不動産業　□医療　□教育　□公務

□製造業(飲食料・繊維・化学・鉄鋼・非鉄鋼・電子部品・通信機器・輸送用機器・その他＿＿＿＿＿＿＿＿)

□情報通信業(マスコミ・その他＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)

□運輸業(鉄道・道路・水運・航空・その他＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)

□学術研究　□サービス(専門技術・宿泊・飲食・エンタメ・生活・その他＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)

□その他＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**Q1-2. あなたの組織の技術・サービスなどを宇宙産業に応用する場合、最も可能性のある分野は何ですか？**

□資材調達　□インフラ・土地開発　□装置開発・製造　□映像制作・広告・出版　□データ配信

□打上/輸送サービス　□市販品の販売　□投資・ベンチャー支援　□人材派遣　□施設運営(地上・宇宙)

□コンサル(科学技術・政策・法律・その他＿＿＿＿＿＿＿＿＿)　 □エンタメ　□教育　　□国際協力

□研究利用(天文・物理・化学・エネルギー・電気電子・土木・材料・動植物・環境・薬学・医学

・その他＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)　 □ その他＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**Q1-3. これまでに、あなた(またはあなたの組織)がISS・きぼうとどの様に関わってきたかお教えください。**

□ISS・きぼうの研究利用　□開発支援・運用支援　□該当なし

□その他＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**Q2　＜本日のシンポジウムについて＞**

**Q2-1. 「きぼう」利用シンポジウムのどの部に参加しましたか?（複数選択可）**

□第1部:「きぼう」利用から始まる価値の創造　□第2部: 国際宇宙ステーションが創る市場

□第3部: NASA / JAXA Joint Workshop □第4部: 地球低軌道活動の発展に向けた今後の期待と展望

**Q2-2.　今回のシンポジウムを通じて、「きぼう」利用についての理解が深まりましたか？**

□全く深まらなかった　□ あまり深まらなかった　□ 多少は深まった　□ 深まった　□　とても深まった

**Q2-3. 今回のシンポジウムの満足度はどれくらいでしょうか？それぞれにお答えください。**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | とても不満 | やや不満 | 普通 | やや満足 | とても満足 |
| 全体のプログラム構成 | □ | □ | □ | □ | □ |
| セッションのテーマ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 議論の内容 | □ | □ | □ | □ | □ |
| 登壇者 | □ | □ | □ | □ | □ |
| メインセッションの運営 | □ | □ | □ | □ | □ |
| 展示内容 | □ | □ | □ | □ | □ |
| 会場運営 | □ | □ | □ | □ | □ |
| **どんな点が良かった・良くなかったかお教えください。** | | | | | |

**Q2-4. 来年も「きぼう」利用シンポジウムを開催した場合、参加されたいですか？**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 参加しない | 多分参加しない | どちらとも言えない | 参加したい | とても参加したい |
| □ | □ | □ | □ | □ |

**Q2-5.　来年のシンポジウムに関して、お知りになりたい内容・企画をお教えください。**

|  |
| --- |
|  |

**Q3　＜今後の宇宙開発・利用について＞**

**Q3-1. あなたの組織は、現在または将来、ISSを利用することを検討していますか？**

□はい　□いいえ　□分からない

**Q3-1-1. （Q3-1で「はい」を選んだ方）**

|  |
| --- |
| **（具体的にどのようなISS利用を考えているかお教えください。）** |
| **（ISSを利用するにあたり、JAXAに期待することは何ですか？）** |

**Q3-1-2.（Q3-1で「いいえ」を選んだ方）**

**Q.　今回のシンポジウムを通じて、今後「きぼう」を利用してみよう、利用できるのではないかと思えるようになりましたか。**□ はい　　□ いいえ

|  |
| --- |
| **(利用しない・出来ない理由があればお教えください。)** |

**Q.　今後も「きぼう」利用を継続・発展させていくべきだと思いますか。**□ はい　　□ いいえ

**Q4. シンポジウム全体を通じて、ご要望やご感想がございましたら、ご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

アンケート①は以上になります。ご協力いただきありがとうございます。

**アンケート②**

**国際宇宙ステーション（ISS・きぼう）を以前に使用したことがある方にお聞きします。**

**Q5. あなたの職種(主な役割)は何ですか？**

□研究者　□技術者(農林水産、製造、商品・技術開発、土木、情報)　□医療従事者　□販売従事者

□その他（ご記入ください。）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**Q6. 利用している領域は何ですか？**

□ 新薬設計支援　　□ 加齢研究支援　　□ 超小型衛星放出　　□ 船外ポート利用

□ その他（ご記入ください。）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**Q7. 利用した背景及び理由・目的は何ですか？**

|  |
| --- |
|  |

**Q8. 利用する上での課題の有無を教えてください。**

□ 有り

|  |
| --- |
| **具体的な課題をお教えください。** |
| **解決策として実施している／しようとしている施策をお教えください。** |

**Q8-1　利用シンポジウムは課題解決のきっかけになりましたか。**□ はい　　□ いいえ

**(Q8-1で「はい」を選んだ方）**

**Q「きぼう」利用シンポジウムにおいてどのセッションが一番参考になりましたか？**

【第1部：「きぼう」利用から始まる価値の創造】

□「きぼう」における研究成果と今後の展望、国際協力の重要性（基調講演）

□「きぼう」利用の中核を担う4つの柱を支える研究開発基盤（ステータスレポート）

□ 健康に暮らす社会に向けた宇宙の活用 -基礎研究や民間の取組み（パネルディスカッション）

□ 宇宙を新薬設計に役立てる -基礎研究から民間利用への拡がり（同上）

□ 活動領域を広げる実践場としての宇宙空間 -民間利用の成果と事業化への取組み（同上）

□ 今後の利用推進施策および将来の展望（ラップアップ）

【第2部：国際宇宙ステーションが創る市場】

□ ISSが拓く地球低軌道(LEO)の経済 -LEO市場の創出と拡大（基調講演）

□ LEOの技術革新が社会にもたらす価値（対談）

（裏面へ続く）

【第3部：NASA / JAXA Joint Workshop】

□ ISS利用の今後の展望（対談）

□ JP-US OP3の取組みと今後の期待（成果報告）

□ 米国における商業利用の現状（基調講演）

□ 米国のISS利用の現状と今後の展望（基調講演）

【第4部：地球低軌道活動の発展に向けた今後の期待と展望】

□ 2025年以降の地球低軌道活動への期待 -民間の視点から（パネルディスカッション）

□ビジネスを目指した官民連携の状況について（話題提供）

**Q8-2. （Q8-1で「いいえ」を選んだ方）理由をお教えください。**

|  |
| --- |
|  |

□ 無し

|  |
| --- |
| **スムーズに進んだ要因があればお教えください。(JAXAからのフォローがあったため、など)** |

**Q9. きぼう利用に関するお問合せ窓口(JAXAきぼう利用プロモーション室 z-kibo-promotion@ml.jaxa.jp)があることをご存知ですか？**　□はい　□いいえ

アンケート②は以上になります。ご協力いただきありがとうございます。

頂いた情報は適切に管理し、今後の「きぼう」利用及び国際宇宙探査に関する業務のみに使用します。